

7. 主な報道発表 (2025 年 12 月 1 日以降)

発表日	発表内容	詳細 ▼当社 HP
12 月 16 日	福井県嶺北を震源とする地震による施設への影響について (異常なし)	
1 月 6 日	島根県東部を震源とする地震による施設への影響について (異常なし)	

げんでんふれあいギャラリー 2026 年 1 月催し物案内

第 28 回 (令和 7 年度)「小学生人権ポスターコンテスト」及び第 44 回 (令和 7 年度)「全国中学生人権作文コンテスト」福井県大会入賞作品展	会 期	1 月 6 日 (火) ～1 月 11 日 (日) * 初日は 12:00 から 最終日は 15:00 まで
福井県内の小学 5・6 年生の児童が描いた人権ポスターや、中学生が書いた人権作文の入賞作品展です。いじめ問題や男女差別問題等、人権をテーマとした作品を 40 点展示予定です。 (主催：福井地方法務局，福井県人権擁護委員連合会)		
敦賀市内高等学校 3 校合同作品展	会 期	1 月 20 日 (火) ～1 月 25 日 (日)
敦賀市内の高等学校 3 校 (敦賀気比高等学校／敦賀工業高等学校／敦賀高等学校) 合同による絵画，書道，研究製作等の作品展です。学校のクラブ活動等で生徒の皆さんが制作した作品を 33 点展示予定です。		
佳奈習字教室 & ヴァレイソーイングジャム敦賀校 作品展	会 期	1 月 27 日 (火) ～2 月 1 日 (日) * 最終日は 15:00 まで
当ギャラリーでは初となる，佳奈習字教室 (代表：上塚 佳奈 様) & ヴァレイソーイングジャム敦賀校 (代表：堀居 唯 様) の子供たちによる作品展です。 どちらも頑張りがたっぷり詰まった作品を 75 点展示予定です。		

2026 年度 展示利用申込み受付期間およびお申込み方法について，ホームページに掲載しました。  
下記の二次元コードからご確認ください。

お問合せ先

げんでんふれあいギャラリー  
フリーダイヤル：0120-749-201  
開館時間：9:30～16:30

住所：敦賀市本町 2 丁目 9-16  
FAX：0770-25-5603  
休館日：12 月 29 日～1 月 3 日

こちらからげんでんふれあい  
ギャラリーのホームページを  
ご覧いただけます

イベントブース出展のお知らせ

2026 年 1 月イベント出展情報 お誘いあわせのうえ，是非お越しください。

第 51 回 福井県越前海岸 水仙まつり			
出展日	イベント名	会 場	内 容
1/17 (土)	水仙・カニフェア 9:30～15:00	道の駅「越前」駐車場 (丹生郡越前町厨 71-335-1)	写真キーホルダー (数量限定のためなくなり次第終了)
1/25 (日)	こしの水仙まつり 9:30 ～ 16:00	越前水仙の里公園 (福井市居倉町 43-25)	写真キーホルダー (数量限定のためなくなり次第終了)
1/31 (土)	荒波フェスタ 9:30～16:00	旧河野中学校体育館 (南越前町甲楽城 48-22-1)	写真キーホルダー (数量限定のためなくなり次第終了)

本資料のお問合せ先：日本原子力発電株式会社 (略称：げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部  
TEL:0770-25-5713 住所：敦賀市本町 2 丁目 9-16

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

昨年は大変お世話になり有難うございました  
本年も敦賀発電所の安全性と信頼性向上に全力で取り組んでまいります  
今後とも何卒よろしくご指導のほどお願い申し上げます

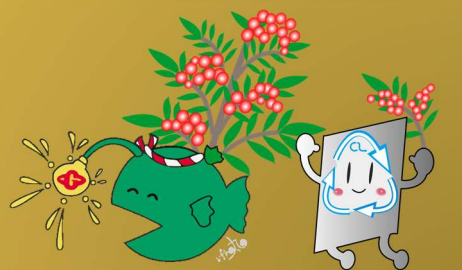
敦賀事業本部長  
敦賀事業本部 副事業本部長兼敦賀発電所長  
敦賀事業本部 副事業本部長  
敦賀事業本部 副事業本部長兼原子力リサイクルビジネス推進チームリーダー

坂井 毅志  
寺谷 康治  
南 浩  
桐山 崇  
浦上 正雄  
楠 丈弘  
和佐 尚浩  
白石 浩一



敦賀事業本部長

げんでん LINE  
公式アカウント  
お友達登録(無料)  
はこちら▶



敦賀発電所キャラクター げん丸 クリアランス制度理解促進  
キャラクター とらいクリン

1. 敦賀発電所の状況 (2026 年 1 月 7 日現在)

プラント (炉型)	状 況
1 号機 (沸騰水型) 	● <b>廃止措置中</b> (2017 年 4 月 19 日 ～ 2047 年度) ○2015 年 4 月 営業運転終了 ○建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事 (2024 年 10 月 1 日～) ○軽油貯蔵タンク他解体工事 (2025 年 4 月 21 日～) * 廃止措置とは，運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し，これに伴い発生する廃棄物を 処理・処分し，更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2 号機 (加圧水型) 	電気出力 116.0 万 kW，1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1923.0 億 kWh ● <b>第 18 回定期検査中</b> (2011 年 8 月 29 日 ～) ● <b>新規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み</b> ○追加調査実施中 (2025 年 9 月 16 日～) 本紙 2 ページ目に詳しく掲載しています。

2. 敦賀発電所 3,4 号機準備工事の状況 (2026 年 1 月 7 日現在)

閣議決定された第 7 次エネルギー基本計画において，  
「再生可能エネルギーと原子力をともに最大限活用して  
いくこと」が明記されたことにより，現在，原子力規制  
委員会と事業者の間で次世代革新炉の開発・設置に向  
け，具体的な議論が進められています。

本計画には，地域の皆さまから大きな期待を寄せてい  
ただいており，こうした期待に応えるべく，実現に向け  
た取り組みを継続してまいります。



建設予定地の状況 (2025 年 12 月 17 日撮影)



### 3. トピックス

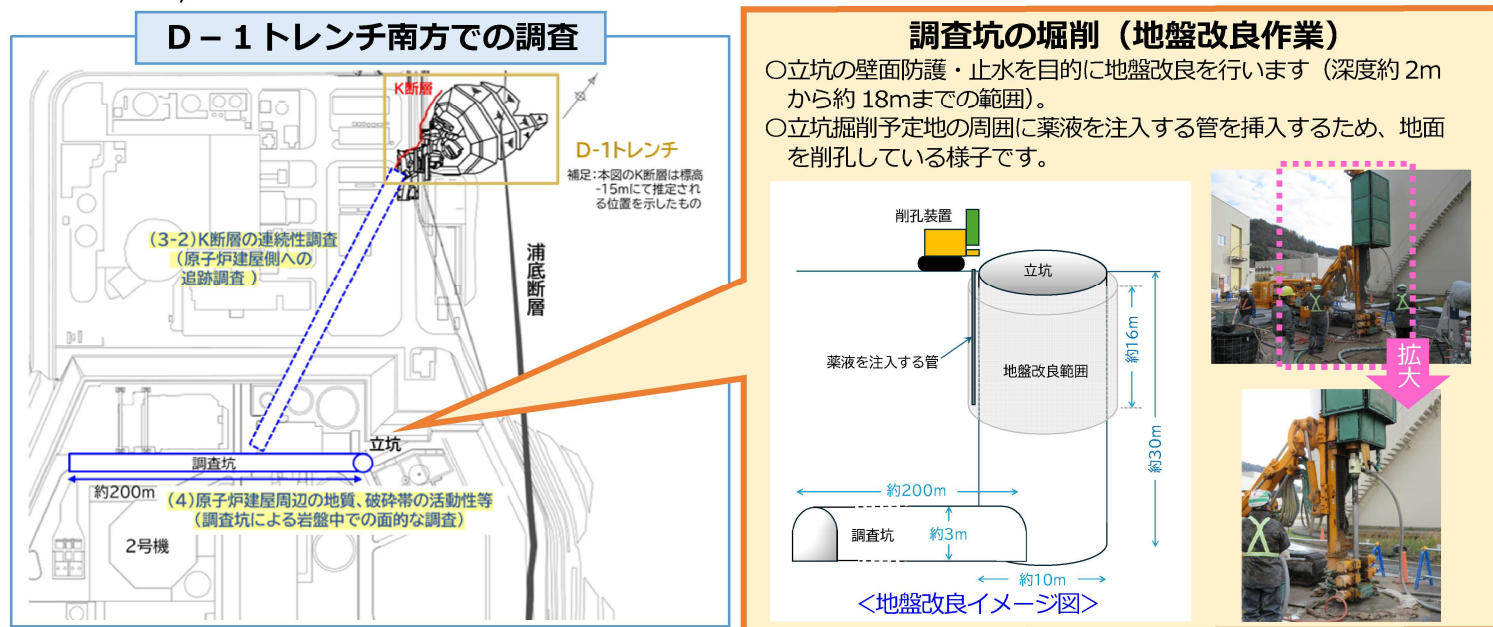


◀追加調査に関する内容など2号機の新規制基準への対応については、当社ホームページからご覧いただけます

#### (1) 2号機 新規規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査 (2025.9現地調査開始)

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「破碎帯（K断層以外を含む）」の調査を目的とした作業の一つとして、調査坑（立坑）周辺の地盤改良作業を行っているものです。

引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。



#### (2) 敦賀発電所総合防災訓練を実施

昨年12月16日、敦賀発電所などで原子力総合防災訓練を行いました。

この訓練は、原子力災害発生時に、敦賀発電所、本店、原子力事業所災害対策支援拠点など、原子力防災に関わるすべての組織が連携し、それぞれの活動が有効に機能することを確認することが目的です。

訓練には当社、グループ会社および協力会社から約310名が参加し、地震による災害発生を想定して、使用済燃料プールへの冷却水注水対応（能登半島地震での地盤隆起も考慮した海水による水源確保活動）、消火活動（原子力機構ふげんの自衛消防隊との連携）などを実施しました。また、敦賀総合研修センターに現地支援本部を設置し、要配慮者の避難支援や発電所への資機材搬送などの活動を行いました。

当社は今後も継続的な訓練を通じて、安全性の更なる向上に努めてまいります。



### 4. コミュニケーション活動

#### つるが環境フェア 2025 に出展

昨年11月29日、敦賀市のきらめきみなと館で開催された「つるが環境フェア2025」に出展しました。

当日は約140名の方にご来場いただき、放射性廃棄物の減容への取り組みの動画や、ポスター等の展示を通じて、環境管理活動やクリアランス制度についてご紹介しました。

また、工作コーナーでは親子連れの皆さまにも楽しんでいただきました。



### 5. 次世代層への教育支援活動

#### 福井新聞社主催「2025 福井県小・中学生科学アカデミー賞」に協賛

児童生徒の優れた理科の自由研究を対象とした「2025 福井県小・中学生科学アカデミー賞」の表彰式が昨年12月6日、福井新聞社・風の森ホールで開催されました。今回で32回目を迎えた今年度は、約15,880点の応募があり、選ばれた88作品（個人82人、団体2組、学校4校）が表彰され、当社も協賛企業として、優秀な作品を多数応募した学校4校に「日本原子力発電（株）社長賞」を贈呈しました。



### 6. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、2025年度30コースの公開研修の開催を予定しており、以下はお申込み期限間近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>

研修名	研修概要	研修期間	申込み期限
原子力鋼材コース	原子力発電所の事故・トラブルでは、使用されている鋼材の性質が重要な意味を持つことがあります。原子力発電所では様々な鋼材が使われており、主な鋼材の金属的な特徴、機械的な性質、鋼材の耐食性や破壊のメカニズムなどを学びます。 なお、受講者は鋼材に関する初歩的な知識を有していることが望ましい。	2月18日～ 2月19日 (2日間) *1日単位の受講も可	1月9日
原子炉施設 廃止措置コース	廃止措置の概要や法制度とともに、廃止措置の基礎となる放射能評価、廃棄物の処理・処分や解体撤去技術など、廃止措置の先行例を含め廃止措置の概要全般について学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	2月25日～ 2月26日 (2日間)	1月16日
ヒューマン ファクターコース	どんなに優秀な人でもヒューマンエラーから逃れることができません。人間の特性を知り、エラーを防ぐ対策を講じることが大切です。本研修ではヒューマンファクターの基礎的知識（人間の基本特性や集団特性など）を理解するとともに、作業時のヒューマンエラーの防止方策を学びます。 ヒューマンエラーとは人に起因する誤りのことであり、人為ミスとも呼ばれます。誰もが起こす可能性があるヒューマンエラーの防止方策を学ぶことはとても有益です。 広く一般の方にもお薦めします。	3月4日～ 3月5日 (2日間) *1日単位の受講も可	1月23日
原子炉施設 廃止措置工事学習 コース	原子力発電所構内において、廃止措置工事に初めて従事する上で必要となる発電所ルールの概要、技量や手法、工事要領検討について講義と実習により学びます。	3月11日～ 3月12日 (1.5日間)	1月30日

公開研修に関する  
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）  
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）  
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

